

「みんなでつくろう 市民トーク」開催結果（牧之原地区）

1 日時等

- (1) 日 時 6月19日（火） 午後7時00分～午後8時40分
- (2) 会 場 牧之原コミュニティセンター
- (3) 内 容 市長による市政情報、防災課による避難計画説明
地区が希望する説明、質問票
- (4) 参加人数 107人



2 地区の希望する市政内容について説明（20:00-20:30）

(1) 絆委員会について

「絆づくり委員会」の狙いは、協働のまちづくりを進める人材育成にある。地域の課題発見・解決に向けての取り組みについて、相良地区では、社会教育課が推進する公民館活動の理念に基づき、体育祭・文化祭・保健活動等の事業を行っている。

事業の中で各町内会から、正副町内会長を中心に、育成委員・体育委員から各2名が選出される。各事業では経験者から運営方法を学ぶ。この経験によって町内会組織を知り、徐々に区の一員としての自覚が生まれる。

4年間「絆づくり事業」に係わってきた中で常に感じたことは、公民館活動と絆づくり委員会の捉え方が同じで、中には事業が重複してしまう。先輩諸氏が築いてきた、区の運営の理念を更に強固なものにしていき、地区には地区の良さがあり、代々言い繋いできたことを誇りとする地域でありたい。

よって、市当局は合併以前の地区の良さを生かした、協働のまちづくりを進める人材育成を尊重して欲しい。

【回答：杉本市長】

地域の皆さんが、これまでの活動の中で伝統として培ってきたことは、引き

続き取り組んでいただくことで、次の時代へと受け継がれるものであり、大切なことであると感じています。

一方、地域の絆づくり事業は「自分たちの地域を良くしていこう、自分たちの暮らしをもっと楽しく、暮らしやすい地域にしよう」といった想いを、少しでも実現できるよう取り組むものであり、平成23年度に、自治会地区長会から提案されたものです。

私も過日、牧之原地区の絆づくり事業で、植樹に参加させていただき、皆さんと一緒に汗を流しました。昔はこうした活動を地域で考え、色々と皆で取り組んだものです。

このような取り組みの中で、人と人、地域と地域、各種団体の連携など、若者からお年寄りまで、色々な方々との交流が深まり、そこからまた、新たな取り組みや人材が生まれてくるものと考えます。

継続性のある地域づくりをしていくためにも、地域を良く知る次世代の人材育成は重要であり、これからの時代を考えれば、このような住民自治の取り組みは欠かせません。若者も男性も女性も先輩の方々も一緒になって、これまで同様に取り組んでいただきたいと思います。

(2) 高台開発について

牧之原市 I C 北側開発については、市の重点事業であり、拠点室を中心に精力的にお取り組みいただき感謝いたします。

現在、土地区画整理事業について具体的に進めておられることと思いますが、下記について進捗状況を教えていただきたい。

- ①一括代行者について ②現時点で進出する企業について

【回答：横山副市長】

① 牧之原市 I C 北側土地区画整理準備組合では、確実かつ円滑な事業の推進と土地利用の実現を図るため、民間事業者の高度な技術力や専門的な知識、資金を活用することができる一括業務代行方式を導入します。7月初旬から一括業務代行予定者の公募を開始し、9月下旬には業者を決定していきたいと考えています。

② 進出する企業については、一括業務代行予定者の公募の中で応募者が提案することになっているので、一括業務代行予定者が決定した後、地域のまちづくりや土地利用なども含めて、準備組合で協議、決定していく見込みです。なお、準備組合では大規模商業施設、観光物産施設、宿泊施設、住宅地などの整備を、I C や空港、バイパスなどを生かした理想の将来像として検討しています。

(3) 保護者への学校緊急連絡について

市内の小中学校では、保護者への緊急連絡について、市が保健管理として導入している子育て連携システム「まきはぐ」で市内小中学校へ一括して対応しているようですが、学校組合立である牧之原小中学校では、菊川市との関係で市と同一の方法ではできず、別のソフトを使っているようです。

子どもの命に関わることで、市教育委員会ではどのように捉えておられるのか教えていただきたい。

もう一点は、牧之原小学校に一人欠員があり、教務主任が兼務で対応しているとのこと。もう二か月経とうとしているのではないかと思います。

子どもは宝だと市長は言います。免許を持っている人を探すような努力をお願いしたいということと、教務主任が掛け持ちというのは厳しいのではないかと思います。

学校教育課には3名の免許を持った方がいるわけですが、せめて午前中だけでも面倒をみるということは可能なのでしょうか。

また対策として、例えば退職者の免許更新制をなくすよう国に要望していく。そうしないと免許を持っている人がいなくなってしまうのではないかと思います。そういった取り組みについて教えていただきたいと思います。

【回答：橋本教育長】

まず一点目、市の子育て連携システム「まきはぐ」ですが、牧之原小中学校においても「まきはぐ」を利用してメール配信ができますが、現状としては学校でこのシステムを取り入れていません。

以前、川崎小学校でも年度切り替えの時に、別のシステムから「まきはぐ」に切り替えました。牧之原小中学校の現行システムの契約状況を確認しながら、順次「まきはぐ」を使ってメール配信ができればと考えています。

昔と違い今は電話連絡網がなく、メールで一斉に流しますので、全員の方に登録してもらわないと成り立ちません。また学校側に導入するように働きかけをしていきたいと思います。

【再質問】

菊川市の子どもたちも利用できますか

【回答：橋本教育長】

登録すれば利用できます。菊川市の人だからメール対応できないということはありません。ただし加入には手続きが必要となります。

2点目の教員の欠員についてですが、今は牧之原市に限らず県下全体で講師不足が起きています。予想以上に退職者が出た場合、全てに充当できないという状況の中で、市としてもこのままではいけないと、県下のあらゆる所に昨年

末からお願いして、それでもやっと現状こうなっているという状況です。

代替教師も任期がありますので、ちょうど切り替わってどこかの学校が任期切れになる人がいれば、その方にすぐお願いするというのをネットワークの中で至急対応できればと思います。現状は高校までお願いして、こういう人がいないかと探してもこういう状況で、その点は本当に申し訳ありませんが、ご理解いただきたいと思っています。なんとか早期対応したいと思っています。

免許が更新制になった関係で、退職者の中には退職して一区切りしたから免許を更新しないという方がけっこういます。そうした中でも、意欲のある方にはお願いをして引き続きお願いをしているところです。

制度上の問題や、教育委員会としても頑張らなければいけない部分もありますが、来年はこうしたことがないよう教育事務所、県教委の方をお願いしていきたいと思っています。

(4) 矢崎西門前の横断歩道廃止について

昨年も質問した標題の件について、最終5月1日に関係部署と協議をさせていただきましたが、その後の進捗状況および廃止の可否の見通しについてお答えください。

【回答：横山副市長】

横断歩道廃止の可否については、警察署と協議するとともに混雑解消のための矢崎西門南側の信号機の時間調整の依頼も行っています。矢崎にも、通勤・退社による渋滞及び西門横断歩道横断による渋滞解消対策を再度依頼したところ です。

廃止した場合の横断者と地元車両との交通安全対策など、規制解除には課題が多いため、引き続き渋滞対策の協議も含め調査研究を行っていきたいと考えます。

【区長】

高台開発の中で工場や企業誘致、あるいはショッピングモールなど、これからさらに車両が増えてきます。先読みとしたビジョンを持って計画性のある取り組みをお願いします。

(5) 老人会役員等の会議・活動における交通手段について

高齢者の交通事故が社会問題になっている昨今、老人会の活動における交通手段として、乗り合いで移動をしています。乗せる人も、乗せてもらう人も常に交通事故が念頭にありますが、やむを得ずの状況です。どこの区でも共通の課題だと思いますが、特に役員は出掛けることが多々あり、役員の選出にも影響が出ています。高齢者の交通事故対策と老人会活動を助成する観点から、公

用車による送迎をお願いできれば幸いです。

【回答：横山副市長】

日頃、老人クラブの活動に取り組んでいただき、ありがとうございます。現在、牧之原市の高齢化率は29.8%で、7年後の平成37年には33.1%になるとの想定もされている中、多くの高齢者の皆さんが、健康で活躍できる時を長く過ごすためにも、老人クラブ活動は大変重要なものであると考えています。

公用車での送迎をという意見ですが、現在、市では移動手段を持っていない地域住民の足の確保のため、公共交通の計画を作っているところです。

昨年度からは、試験的にデマンド乗合タクシーを運行しており、今後、他の地区にも、地域に合った交通施策を広げていきたいと考えています。

また、他市では、国の制度などを活用し、地域のNPOや自治会が主体となり、公共交通空白地の有償運送に取り組んでいる地域もあります。

高台や市街地を結ぶとともに、居住地域から市街地などを結ぶため、デマンドや自家用有償運送、地域の助け合い等も含め、市内の交通ネットワークの充実に努めていきます。

皆さんの活動がしやすいように、また健康長寿に結びつけるためにも、その活動の手助けとなる交通手段は、大変重要ですので、改めて市老人クラブ連合会の役員の方々と協議し、現状の課題解決に向けて検討していきます。

(6) まちづくり事業「絆づくり」における要望

牧之原地区自治推進協議会では、昨年「絆づくり」において旧大井海軍航空隊の境界の土手に、市の花「あじさい」などを区民の協力で植樹しました。今後の管理などの作業の安全確保やあじさいなどの成長に伴い、ウォーキングコースとして区民の健康増進につなげるため、現在は排水路として機能していない（土砂が堆積）用地を埋めて、新たに歩道として再生を図りたいと考えています。（平成30年5月8日要望書提出済）

当該場所の道路は平日の交通量は少なく、今のところ安全と思われていますが、土日は近隣にあるドッグランの利用者の増加と道路が狭隘のため、歩行者には危険をはらんでいます。歩道を新設することにより、歩行者の安全確保と「絆づくり」関係者の活動援助にぜひご理解をお願いします。

【回答：杉本市長】

市単補助事業というのがあり、地域の皆さんと一緒に、地域づくりの中で、作業を皆でやろうということであれば、U字溝の支給をしたり、土砂の支給をしたりという形でやれるだろうと思います。詳細については建設課と詰め、要望を提出していただければと思います。まだ今年度の要望に間に合いますし、年度内の事業化も可能だと思しますので、よろしくをお願いします。

3 個人からの質問票による意見・質問（20:30-20:40）

（1）水道料金の市内均一化をお願いしたい

【回答：飯塚建設部長】

牧之原市内の水道は、5つの事業者（牧之原市・菊川市・御前崎市・吉田町・大井上水道企業団）により給水が賄われており、水道料金は自己水源を持っているかないかで、どうしても差がでてしまいます。

この牧之原地区には大井上水企業団と菊川市水道が給水していますが、例えば月 20 トン水を使った場合、水源を持っている大井上水企業団の区域では 2,248 円で、水源を持たない菊川市水道では 3,570 円、市内の大半を給水区域にしている牧之原市水道では 3,618 円ほどになります。

水道事業については、独立採算に基づき事業者ごとに料金を設定しているため、市内の水道料金を統一することは出来ません。大変もうし訳ありませんがご理解願います。

（2）高台開発後、周辺地域の交通渋滞、騒音問題など、安心して生活できる配慮をお願いしたい。

【回答：飯塚建設部長】

高台開発においては、牧之原市 I C 北側土地区画整理準備組合が、賑わいのある拠点づくりの実現に向けて、事業の検討を重ねています。周辺の交通対策、騒音対策など、安心して生活できるような環境づくりについても、組合とともに万全の対策を講じてまいります。

（3）公民館の新築移転の現状（進捗）を教えてください。

【回答：飯塚建設部長】

公民館の新設移転については、地区や自治会の皆さんの考えや方針が第一でありますので、今後、地区での議論や気運の高まりを踏まえながら、市としての対応や支援を検討してまいります。

なお、I C 北側土地区画整理準備組合で、I C 北側開発地区の土地利用イメージ図の中で「公共公益施設ゾーン」を設定しています。具体的な配置、導入する公共施設については、今後、地区の皆様の見解をいただきながら検討していくこととしています。いずれにしても、公民館の新築移転については、まず、区民の皆様のお考えが第一ですので、現在、市では特に具体的な検討はしていません。

- (4) ・お茶の値段を上げるにはどうしているのか？
・ヨーロッパや海外へのお茶のルートはあるのか？

【回答：名波お茶振興室長】

全国的な茶況の低迷により、市内で生産されるお茶の価格が低い状況が続いています。そのような状況下でも、取引する茶商と荒茶製造前から十分話し合っ、茶商の求めるものを製造している生産者は、価格変動が少ないです。

出来た荒茶を売るのではなく、茶商に求められた品質の荒茶を製造する事が必要です。近年、従来通りの画一的な品質の荒茶ではなく、特徴のある荒茶が求められているように感じます。

消費者が、自分の好みに合う特徴のあるお茶を求めています。ティーパックなど急須を使わず飲めるお茶については、需要が増加傾向となっています。単身世帯の増加などにより生活スタイルが変化しており、従来と違った形態の簡便なお茶が求められています。

このように消費者ニーズに合った製品の製造が、今後ますます必要となると考えています。市では、多くの消費者から選ばれ味わっていただけるよう「静岡牧之原茶」のブランド化を茶業関係者と連携し推進していきます。

輸出については様々な課題があり、市内のお茶の輸出が増加している感じはありません。海外で求められているお茶の品質を、市内のお茶が満たすことが難しいことも要因となっています。

市内でも輸出に取り組んでいる茶商がいます。海外に販路を持たない生産者であれば、そのような茶商と一緒に輸出に取り組むことも考えられます。生産者自らが、海外で販路開拓することは難しいため、茶業関係者が一体となって輸出に向けた取組が必要となります。

販売先、販売ルートについては、既存の輸出先以外についても情報収集していき、輸出に取り組む茶業関係者に情報提供していきます。

市では、生産者向けの輸出セミナーの開催や、輸出向け大規模展示会への出展など、販路拡大や輸出などに取り組む茶商や生産者への支援を行っていきます。

- (5) 市役所の働き方改革について（人員減らして業務効率向上させる）

【回答：小栗総務部長】

国の働き方改革では、日本全体の労働力を確保する観点から、働く人の視点に立ち、非正規雇用の処遇改善や賃上げ、あるいは労働生産性の向上、時間外の削減、柔軟な働き方ということを提唱しています。

市についても職員の働き方改革についての改善を図っています。職員数は市が作成した定員適正化計画（第2次 平成28～32）に基づき、業務量に応じた職員の配置や事務事業の見直し、また民間への委託を進めて、職員の削減を図

っています。

今後も時間外の削減や職務能率の向上、業務改善に努めながら、市民の皆さまのニーズに応えられるよう、効果的で効率的な行政運営を図っていきます。

(6) 市の少子高齢化対策の具体的な取り組みを教えてください。

【回答：杉本市長】

パワーポイントで説明させていただいたとおり、子育て支援あるいは定住支援、高台開発といったような施策をひとつひとつ積み重ねていくことが大事であり、そうした取り組みを行ってまいります。

(7) 南地区の活性化

北地区に人口が増加傾向になっている。南地区は子どもも減ってきているし何も商店もない。お茶も大切だけど地域全体が活気づくようにしてほしい。

【回答：杉本市長】

色々なところに住宅地を作るわけにもいかず、政策としては高台を中心に、賑わい施設や、宅地造成をしていこうという取り組みです。

その地域を核に、さらにその周りの輪を広げていこうというまちづくりが今後あるかと思いますが、まずは高台を中心にやらせていただく。そしてそれ以外の地域は、交通のネットワークを整備して、無理なく移動することができる交通ネットワークを作ることが大事だと思っています。また新たな移住者については、空き家や空き地を活用するのも一つの手だと思います。

(8) 浜岡原発の再稼働についての市長の考えは？

【回答：杉本市長】

選挙の時の公約の中で示していますが、住民の安全が確保・担保されない限り、再稼働は容認できないと考えています。原子力発電所のあり方は、エネルギー需要の観点から国策で判断すべきものであり、国が責任をもって安全を担保することが重要だと考えます。

(9) 県道菊川榛原線 歩道拡張工事について

牧之原小中学生の通学路にもなっている。水呑―大久保原間の歩道拡張工事の進捗状況はどのようになっているか知りたいです。

(現状とても危険な通学路です。一刻も早い完成を願います。)

【回答：杉本市長】

今から10年程前に、一旦は整備が進んでいましたが、地権者の協力が得られないという中で事業が止まっていました。私が把握している限りでは、地権者の意向も変わってきており、協力していただけたらと思っていますので、地域の皆さんと一緒に市の職員も出向き、まず地権者の同意書を取ってしまう。そうしてから島田土木に要望を上げることによって、予算が付きやすくなります。今日も島田土木の皆さんと円卓会議を行いました。同意書が取れば予算を付けるというような話も頂いたので、ぜひそうした形で先に合意形成を図りたいと思っています。

(10) 子どもの遊び場づくり

全国で少子化が進んでいる現在、牧之原市も同じ問題があると思いますが、この布引原は若い世代の方々が増えてきているようで、子どもたちが遊ぶ場所が少なく、特に幼児の遊び場がないのが現実です。

コミュニティ広場の横に現在ブランコとバスケットのポールが建っていますが、ここに幼児が遊ぶ遊具を作っていただけないでしょうか。親子と、またご年配の方もお孫さんと一緒に過ごせると思います。ぜひ検討していただきますようお願いいたします。

【回答：杉本市長】

私にも外孫がいます。コミュニティ広場の横に行っては、ブランコに乗せて遊んでいます。本当に私も遊具が欲しいと思っていますし、必要だと思っています。ただそこでグラウンドゴルフをしたり、その時に駐車場として利用することもありますので、遊具を置く場所などについては、地域住民が皆で理解し合う中で検討していただき、その上で区民全体の要望ということで提出していただければ、私はすぐにでも予算を付けたいと思います。